まちが好き　共に生きて　笑顔あふれる　やまつりまち

やまつり

Public Relations Yamatsuri

2 February 2025
令和7年2月7日発行
（毎月第1金曜日発行）
No.767
広報

【成人式特集】(p2~5)
二十歳の想い

【Health information】(p8~9)
「誰かの明日を考える。はたちの献血」

【青少年の主張矢祭町大会（高校生の部最優秀賞）】(p10~11)
学法石川高等学校２年　近内彩花さん

【行政 NAVI】(p12)
矢祭町生活応援クーポン券を配付します

【地域おこし協力隊活動ダイアリー VOL87】(p14~15)
Main presenter
酒井隊員・川瀬隊員
眞野隊員・鳴瀬隊員

【成人式特集】

二十歳の想い

令和7年矢祭町二十歳の成人式は、1月12日（日）午前10時よりユーパル矢祭2階多目的ホールで行われました。

今年の対象者は、町内在住または本町出身で、平成16年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた47人（男性29人、女性18人）。そのうち40人が式典に出席し、晴れの日を共に迎えました。

彼らが生まれた20年前には、愛・地球博の開催や日本の伝統芸能である歌舞伎がユネスコの無形文化遺産に登録決定。小泉純一郎氏が内閣総理大臣在任中に用いた劇場型といわれる当時の政治手法のことを指す「小泉劇場」が流行語大賞となるなど多くの出来事があった年となりました。

そんな年からこれまでの間に、家族や友人、地域の方など多くの人たちと出会い、さまざまな経験を通し成長してきた彼らは、これからの明るい時代を担い、本町をより一層輝かせてくれることでしょう。

『ご成人おめでとうございます。』

Interview

無事に成人式を開催できてよかった

令和7年二十歳の成人式
実行委員会副実行委員長

小松　るみさん

成人式の実行委員会では、みんなの意見が分かれてしまうこともありましたが、それらを解決し、無事に成人式が開催されて良かったです。

また、将来のことはまだ決まっていないので、今後はやってみたいことや自分に向いていることを見つけたいです。そのために今できることを頑張っていきたいと思います。

夢に向かって頑張りたい

令和7年二十歳の成人式
実行委員会委員長

本多　成舟（せいしゅう）さん

今回、成人式の実行委員長を務めさせていただき、とても良い経験ができました。みなさんのご協力もあり、とても楽しく成人式の準備をすることができました。

今後はやりたいことがあるので、その夢に向かって頑張っていきたいと思います。また、お酒も飲めるようになったので、友達と楽しく飲みたいです。

1_成人証書・記念品を受け取る成人代表の藤田一希さんと本田遥さん／2_二十歳の成人式参加者女性と恩師による記念撮影／3_久しぶりに再会した友人と記念撮影／4_晴れ姿を写真におさめる保護者／5_鮮やかな振袖姿で記念撮影／6_成人式の開催を喜ぶ成人者

Interview

自分にできることを探していきます

令和７年成人者
薄井　悠（はるか）さん

無事に成人式を迎えることができてとても良かったです。現在は、大学で経営・経済について学びながら将来のことについて考え、自分にできることは何かを探しています。目標は決まっていませんが努力を怠らないように頑張っていきたいです。

また、これからは友達と楽しみながらお酒を飲みたいです。

消防士を目指し、頑張ります

令和７年成人者
佐藤　丈斗（たけと）さん

将来は消防士になりたいと思っているので、現在、公務員を目指すための専門学校に通っています。その中で、勉強も大変ですが消防士の試験には体力試験もあるので勉強に加え、トレーニングにも力を入れています。

また、今後はトレーニングの一環にもなると思い、登山にもチャレンジしたいと考えています。

松本虎ノ助 さん

まつもととらのすけ（令和７年矢祭町成人の主張発表者）

本日は、お忙しい中ご参加いただき誠にありがとうございます。本日無事に成人式を迎えられたことを大変嬉しく思います。

私は現在、新潟の専門学校に通っており、一人暮らしをしています。一人暮らしはとても気楽で楽しいですが、一方でとても寂しいものでもあります。帰宅したらまずカーテンを閉め、電気をつけ、自分で料理をし、一人で夕食を食べ、その皿も自分で洗います。「ただいま」を言う相手もいなければ、「おやすみ」を言う相手もいません。街を歩いていても声をかけてくれる人もいません。それに比べ実家に帰れば「ただいま」と言えば「おかえり」と返ってきます。「おやすみ」と言えば「おやすみ」と返ってきます。矢祭の町中を歩いていれば「あれ？虎帰ってきてるのか！」と声をかけてくれる方もいます。

一人暮らしを始める前までは「矢祭は田舎で遊ぶところもなければ、町の人も干渉してくるし、早くひとりで暮らしたい」そう思っていました。ですが今では「矢祭に生まれて本当に良かった」と思うようになりました。なぜならこの町には矢祭山や滝川渓谷、戸津辺の桜などの観光地、夏になれば天王祭が開催されるなど他の市町村に誇れるたくさんの魅力があり、そして何より大切な家族、大切な友達、お世話になった町の人がいるからです。皆さんもこの町をよく見てみてください。今までは気づけなかった魅力に、ハタチになった今、気が付くはずです。

最後に、私は専門学校を卒業したらこの矢祭町に戻ってくる予定です。そしてどんな形であれ、この矢祭町をもっと盛り上げたいと考えています。皆さんにも「矢祭に残れ」とまでは言いません。ですが矢祭には他では見ることのできない自然。みんなで過ごした小学校、中学校。お世話になった町の人、大切な友達、大切な家族が皆さんの未来を見守っているということ、そして何に対しても感謝の心を持つことを決して忘れないでください。本日は誠にありがとうございました。

石井優佳 さん

いしいゆか（令和７年矢祭町成人の主張発表者）

本日は、私たち成人者のためにこのような盛大な式典を挙行して頂き心より御礼申し上げます。今日こうして人生の節目となる成人の日を迎えることができたのは、20年間愛情を沢山注いで育ててくれた家族、時に厳しく温かく指導してくださった先生方、共に学び、笑い合いながら沢山の思い出を共有しあってきたかけがえのない友人たち、そして今日ご臨席賜りました御来賓の皆様をはじめとする地域の方々のお力添え支えがあってのことだと思います。

今日成人式を迎え実感というものはありません。20歳になると飲酒や喫煙が法律的上認められ、さまざまな義務が発生し、自立や責任感を今まで以上に求められます。社会人としてのあるべき行動を取り私たちよりも大人の先輩方と共に過ごしていきたいと思います。

私は今ネイリストになるために美容学校に通い今年の３月で卒業します。新しい環境になり全てのことが１からスタートしこれまで生活してきました。専門学校に入学した当時理想の学校生活とは違い社会人としてのマナーや態度、言葉遣いを学び驚きが極めて大きく衝撃を受けました。ですが人は同じ理念や目的を持っていますが、全ての人が同じ特徴や考えを持っているわけではありません。しかし、そのような個性や考えの違いは私たち人間にとって必要不可欠なものであって、頭から否定するのではなく話し合ったり、譲り合ったりしてお互いを尊重するよう努力することが大切なことを学びました。このように学んでからは真摯に受け止め良識を持って行動するようになりました。このような考えをさせてくれたのはたくさんの先生方のおかげだと私は思います。そして、目標や夢に向かってこれまで物事に熱心に取り組んできました。これもたくさんの先生方の教えや学び気づきを与えてくれたり、共に切磋琢磨して目標に突き進んできた仲間がいたからこそだと思います。

皆さんは日々の生活、一瞬一瞬に感謝を持って生活できていますか？

日々過ごしていると「ありがとう」という言葉は言いづらかったり恥ずかしかったりすると思います。本当に成功する人や願いを叶える人は感謝を常に述べている人が多い気がします。成功する秘訣は恩と感謝の気持ちを忘れないということです。人生には必ず困難や苦しみが訪れます。それを乗り越えるためには感謝の心を持つことです。日々の小さな幸せや周りの人たちからの支えに感謝しその恩返しを心掛けることが大切だと思います。感謝の気持ちを持つ事、困難な状況でも前向きな姿勢を保ち続ける事で成長への道を切り開いていけると思います。一歩一歩感謝の力で自分を高め周りの人たちと共に歩んでいきましょう。現状に何か不満を持っていたり成し遂げたい夢がある人は常に日頃から感謝の心だったり思いや縁をすごく大切にして夢や目標に突き進んでみてください。

最後になりましたが、私たちは大人の階段を一歩上ったばかりでまだまだ未熟ではありますがこれから先沢山の人に出会っていく中で日々努力し感謝を忘れずこれから先の人生を切り開いていきたいと思います。これまでお世話になりました皆様に改めてこの場で感謝申し上げまして成人者代表挨拶とさせて頂きます。本日は誠にありがとうございました。

矢祭町ゆかりの偉人

吉岡艮太夫が絵本になりました

「吉岡艮太夫の生涯
～まっすぐな武士の道～」
掃部 千鶴　作・画

吉岡艮太夫の絵本ができるまで

矢祭町ゆかりの偉人、吉岡艮太夫の生涯を紹介する絵本が完成しました。制作の中心となったのは、第13回矢祭絵本大使の掃部千鶴（かもん　ちづる）さんです。今回の絵本は貼り絵での制作となり、読書推進リーダーが貼り絵のもととなる色紙の一部を作りました。

海の色と空の色、畳の色の依頼を受け、使用される挿絵のイメージをしながら、海の波の表現や畳の色について、意見を出し合いながら取り組みました。絵の具を混ぜて様々な色を作ったり、筆だけでなくスポンジを使うなど多様な道具を使ったり、と工夫を凝らした色紙が完成しました。

協力してくれた読書推進リーダーの二人の制作風景 ◀

「吉岡艮太夫」はどんな人？

1830年2月26日に、現在の矢祭町大字中石井の豪農であった鈴木家の次男として生まれました。
17歳で故郷を離れて学問武芸を学ぶべく日本各地をめぐり、その後長崎で奉行祐筆（書記）、江戸幕府において軍艦取調役と出世していきます。
30歳の年、幕府の軍艦咸臨丸に公用方として乗船します。
一団は日本初の太平洋横断任務を成し遂げました。
帰国後から数年後、明治維新の激動の中、幕府側についた艮太夫は追われる身となります。
身を隠すために修行僧になりましたがその後に新政府軍に捕まり、40歳でその生涯を閉じました。

歴史を受け継ぐ

矢祭町から世界へと活躍し、幕末の混乱を生き抜いた吉岡艮太夫の生涯を矢祭町の皆さん、さらには他地域の方に広く知ってもらおうと、絵本を制作することとなりました。絵本のあとがきとしていただいた、掃部さんのコメントの一部をご紹介します。

「艮太夫さんの絵本に親しんで、自分だったらどうするだろうと考えたり、資料編の年表で理解を深めたり、参考の図書を読んだり、興味を広げていただけたら喜びです。」

矢祭町の古地図や、吉岡艮太夫にまつわる多くの資料を参照し、史実に基づき吉岡艮太夫の生涯を楽しいお話にしていただきました。

吉岡艮太夫絵本を読む

こちらの絵本は幼少期のエピソードから、艮太夫の正義感をのぞかせる咸臨丸での事件、時代の流れに巻き込まれながらも苦しい決断をする最期まで、吉岡艮太夫の生涯を、起承転結のある物語に落とし込んだ1冊となっています。

物語として楽しむことができるだけでなく、年表などの資料も巻末に付録されています。吉岡艮太夫が生きた時代背景もふまえながらお楽しみください。

今回制作した絵本はもったいない図書館での貸出はもちろん、各地区の公民館に配架します。ぜひご一読ください。ご希望の市町村には絵本を無償で配布いたします。矢祭もったいない図書館（0247-46-4646）までお問い合わせください。

さらに絵本の完成を記念して、絵本の原画を矢祭もったいない図書館入口に展示しています。推進リーダーが作成した背景も探してみてくださいね。

「誰かの明日を考える。はたちの献血」

冬期は献血者が減少傾向にあります。厚生労働省及び日本赤十字社では、安全な血液製剤の確保、安定供給を図るため、毎年１月～２月に「はたちの献血」キャンペーンを実施しています。「はたち」の若者を中心に、広く国民に献血についての理解と協力を求めることを目的としています。

１人の方が１年間に献血できる回数や量、献血できる年齢には上限があります。献血いただいている方の半数以上は５０歳未満で、この方々が輸血医療を大きく支えています。今後も医療機関に安定的に血液を供給するため、特に若い世代の献血へのご協力をお願いいたします。

献血は、献血バスの来町時以外に、全国の駅周辺等に設置されている献血ルームで受け付けています。詳細は日本赤十字社のウェブサイトをご覧ください。（下記参照）

https://www.jrc.or.jp/donation/ または
「日本赤十字社　献血」と検索
QR コードからもご覧いただけます

【問い合わせ】
町民福祉課健康づくりグループ☎４６-４５８１

介護予防教室『わんあっぷ』開催のお知らせ

下半身筋力アップトレーニング講座

【日程】
２月１４日（金）
【講師】
菊地健太氏
株式会社はなひろ
理学療法士
【内容】

①太ももとふくらはぎの筋力の大切さを確認
②効果的な筋力トレーニングとは？
③自力でできる筋トレの実践

腰痛対策講座

【日程】
２月２８日（金）
【講師】
武藤有貴氏
株式会社はなひろ
理学療法士
【内容】

①腰痛の原因って？筋肉？関節？
②普段の生活で気をつけることは？
③セルフストレッチ、筋トレの実践

会場▶保健福祉センター大会議室／定員▶各回先着４０名（要予約）
開催時間▶１３時３０分～１５時（途中休憩あり）／持ち物▶飲み物、動きやすい服装、タオル、やまっぴーカード
参加申し込み・お問い合わせ▶保健福祉センター町民福祉課健康づくりグループ（担当▶生田目）☎４６-４５８１
※お申し込みは先着順となります。また、参加費は無料です。
※送迎が必要な方は、事前にご連絡をお願いします。

舘山荘で認知症カフェ

一緒に認知症予防について学びつつ、バレンタイン用クッキーを作りましょう。舘山荘のマネージャーで、小学生を育てているママの豊嶋さんより、クッキーを焼いている間に認知症予防に関するお話をします。

身近な家族や友人が認知症にならないために、今できることを皆で話し合いましょう。

日時▶２月１３日（木）１０時～１１時３０分
会場▶矢祭町デイサービスセンター舘山荘
内容▶バレンタイン用クッキー作り、認知症学習
参加費▶無料
問い合わせ▶矢祭町デイサービスセンター舘山荘☎４６-３１８６

３歳児健診のむし歯なしは９人中９人でした（希望者のみ掲載）

＊むし歯にならないために、家庭で気をつけていることについてお母さんたちに伺いました。

舘実希（みつき）ちゃん
飲み物は、お水か麦茶にするようにしています。

菊池玲花（れいか）ちゃん
おやつを食べたら水かお茶を飲むようにしています。仕上げ磨きを欠かさずしています。

菊池アンナちゃん
仕上げ磨きを入念にやったり、フロスを使っています。

佐川奈苗（ななえ）ちゃん
間食をとる時にはだらだら食べないように気をつけています。

佐川尊（たける）くん
仕上げ磨きをしっかりしています。

金澤遼空（はるく）くん
食後の歯磨きを頑張っています。

近藤奏太（かなた）くん
子どもの歯を毎日気をつけて見ています。

河瀬千紘（ちひろ）くん
チョコレートやガムは食べさせないようにしています。仕上げ磨きをしっかりしています。

矢祭町の活性化

学法石川高等学校２年
近内　彩花さん

コロナウイルスの影響により本来の矢祭町がどこか欠けてしまった

現在、日本では２０１９年にコロナウイルスが流行し始めてから収束しつつあります。今ではマスクを外し町を歩いている人が多く見かけられます。感染拡大初期の頃は、除菌やマスクの買い占めが多くみられ、品物が不足するということがニュースだけではなく私の身近でも起きました。また、医療現場で働いている人はＰＣＲ検査を患者さんに１日に何回もしなくてはいけないといったことが起きました。

私は、コロナウイルスによって本来の矢祭町がどこか欠けてしまったなと思いました。なぜなら、コロナウイルスによってボランティア活動がなくなり、矢祭町の盛り上がるイベントがなくなってしまったからです。行事が中止になってから矢祭町の人たちと話す機会が減り、以前のように関わることが減ってしまいました。本当なら私も中学生の時、矢祭町のみなさんと一緒に24時間テレビのチャリティー募金活動を行うはずでしたが、それもコロナウイルスの影響で縮小されて行われました。コロナウイルスがなかったらと考えてしまうことがたくさんありますが、コロナウイルスによって気付かされたこともたくさんあります。いつも歩いている通学路で毎朝私より先におはようと元気に挨拶してくれる方がいます。そのおかげで今日も一日頑張ろうと思えます。しかし、コロナウイルスが流行している時、その方もあまり外に出なくなってしまいました。その時おはよう。と元気に言ってもらえるのも当たり前ではないんだなと気付かされました。コロナウイルスが落ち着いた頃にその方が通学路を歩いているのに気づき、自分から元気におはようございます。と言うことができました。その方は変わらず「おはよう。」と元気に言ってくれました。久しぶりに会うことができ、何より嬉しかったことは前のように変わらず挨拶ができたことです。

また、今年は、コロナウイルスが緩和され、５年ぶりに天王祭が開催されました。朝から夜まで盛り上がり活気あふれる矢祭町が戻ってきたなと感じることができました。

コロナが緩和されてきた今、私はコロナ禍前のような矢祭町の行事を盛り上げるための方法を考えました。その方法の一つとして福島県のゆかりのあるタレントにＰＲしてもらうことが挙げられます。他にも、パンフレットを活用したり、ブログを開設したり、みんなが普段から使っているＬＩＮＥに矢祭町の公式アカウントを開設してフォローしてもらうといったことが挙げられます。

また、自分がＦａｃｅｂｏｏｋやＩｎｓｔａｇｒａｍなどのＳＮＳを活用してもっとたくさんの人に広め、さらに、矢祭町のたくさんの子どもたちを集め子どもだけの神輿を作るなどの取り組みをしたら矢祭町がもっと活気づくのではないでしょうか。コロナ禍前のように矢祭町のみんなが健康で安心して暮らせる町にしていくためにもお祭りなどの行事に自ら積極的に参加していきたいです。これから小さい子から高齢者の方までたくさんの矢祭町の人と交流を深められればいいなと思います。

コロナ前のように町を盛り上げるためお祭りなどの行事に積極的に参加し、町の人と交流を深めていきたい

矢祭町生活応援クーポン券を配布します

昨年に引き続き、物価高騰等により冷え込んだ町内の消費回復及び町民の生活を応援する事を目的に「矢祭町生活応援クーポン券」を全世帯に配布します。

このクーポン券は、共通券として加盟店全店舗で使用可能なものと大型店で使用する事が出来ない仕様の2種類となっています。

【配布対象者】
矢祭町民の方

【価格・発行内容】
額面総額5，500円（1，000円×1枚、500円×9枚）うち3，000円（500円×6枚）は共通券として加盟店全店舗で使用可能、残り2，500円（1，000円×1枚、500円×3枚）は大型店以外の加盟店で使用可能

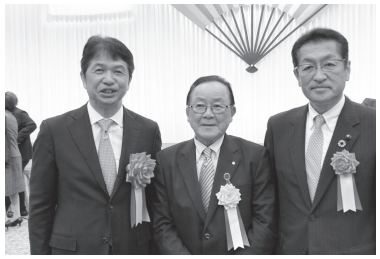
【使用期間】
令和7年2月15日（土）～令和7年3月31日（月）

【使用可能店舗】
参加加盟店にはそれぞれポスターを配付しておりますので、ご確認ください。加盟店一覧については配布時に同封いたします。なお、町ホームページ・フェイスブックでも公開予定です。また、役場窓口と商工会でも配布します。

【問い合わせ】
矢祭町役場事業課産業グループ☎0247-46-4576

第75回千鳥會ともったいない市場を佐川町長が訪問

【第75回千鳥會】
1月8日（水）、茨城県水戸市において政財界をはじめ文化、スポーツ、学術など幅広い分野の代表約1，000人が一堂に会して新春を祝う賀詞交歓会第75回千鳥會が開催されました。會では、茨城県の大井川知事や石井県議会議員らと貴重な意見交換を実施し、各参加者と交流を深めました。



【もったいない市場】
1月20日（月）から23日（木）の4日間、東京駅近くのKITTE丸の内において矢祭町の魅力を発信するイベントを開催しました。会場には「よい仕事おこしフェア」などで包括連携協定を結んでいる城南信用金庫の川本相談役らも訪れ、共に特産品などの販売をとおして矢祭町をPRしました。

入札結果

工事名	入札日	(予定価格) 契約額	落札者	工事場所	工期
令和６年度戸津辺のサクラ擬木柵設置工事	令和６年 12月20日	(2,586,000円) 2,450,000円	水野造園 代表　水野勝男	中石井字 戸津辺地内	令和6年12月20日～ 令和７年３月14日
令和６年度国道118号東舘地内配水管布設替１工区工事	令和６年 12月20日	(5,952,100円) 5,698,000円	矢祭建設（株） 代表取締役　菊池修一	東舘字 山野井地内	令和6年12月20日～ 令和７年３月21日
令和６年度茗荷水源地取水管改良工事	令和６年 12月20日	(58,586,000円) 57,200,000円	矢祭建設（株） 代表取締役　菊池修一	茗荷字 入山地内	令和6年12月20日～ 令和７年３月31日
令和６年度上関河内字寄藤地内耐震性貯水槽設置工事	令和６年 12月20日	(13,002,000円) 12,650,000円	佐川建設（株） 代表取締役　佐川泉	上関河内字 寄藤地内	令和6年12月20日～ 令和７年３月31日
令和６年度東舘字大寄地内耐震性貯水槽設置工事	令和６年 12月20日	(13,475,000円) 13,200,000円	(株)グリーンサービス福島 代表取締役　菊池忠夫	東舘字 大寄地内	令和6年12月20日～ 令和７年３月31日
令和６年度あゆのつり橋改修整備工事	令和６年 12月20日	(30,976,000円) 30,855,000円	佐藤建設（株） 代表取締役　佐藤正美	内川字 矢祭地内	令和6年12月20日～ 令和７年３月31日

※町が発注した、予定価格が１３０万円を超える工事の入札結果を公表します。

縁家 ～えにし～ (44)

人と人を結ぶ えにしづくりの きっかけを

～婚活イベント情報～ 2 月号

YAMIZO KON

素敵な出会い♡見つけませんか？
日時▶3月9日（日）１２時～１５時
場所▶クローバーボヌール
（栃木県大田原市浅香5-３７６４-９５）
対象▶３０歳～３９歳の独身男女１５名（抽選）
参加費▶一人２，０００円
主催▶八溝山周辺地域定住自立圏推進協議会　出会い事業
（大田原市、那須塩原市、那須町、那珂川町、棚倉町、矢祭町、塙町、大子町）
※詳しくは矢祭町結婚支援室にお問い合わせください。

「おしゃべりカフェ」Open

「おしゃべりカフェ」
談話・ジェルネイル・スキンケア無料体験・手相占いなど自由な時間が楽しめ、参加者同士の会話が弾みます。
日時▶２月１２日（水）午後３時～８時
場所▶「リフレッシュふるさとランド」
※展望台のライト点灯時は「おしゃべりカフェ」開催中
開催予定▶2/12（水）・3/12（水）・3/30（日）
※結婚に関する相談や婚活情報、プロフィール登録も随時受け付けています。
※婚活プロデューサーによるカウンセリングも予約を受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。

おしゃべりカフェ情報

結婚したいあなたを福島県が応援します
結婚マッチングシステム「はば福なび」

「はば福なび」は、福島県が導入した紹介型のマッチングシステムです。婚活を真剣に希望する男女の出会いを応援するオンライン型のシステムで、ご紹介の他にも会員限定の交流会やセミナー等も行っております。
登録料１０，０００円（２年間）、月会費・紹介料などは無料です。
福島県内にお住いの方、近い将来福島県に移住をお考えの方で誠実に結婚を希望する２０歳以上の独身男女が対象です。

【矢祭町結婚支援室】

リフレッシュふるさとランド内
☎４６-４８８４
E-mail ▶ yamatsuri.project.y@gmail.com
（E-mail でのご相談可）

詳しい内容は QR コードまたは矢祭町 HP「婚活イベント」で確認できます。

矢祭町地域おこし協力隊は、町外のさまざまな地域から集まり、地域づくりに貢献しています。
現在町内にいるのは７名。各メンバーは、JR 水郡線東館駅を中心とした地域の場づくり、文化振興、地域食材を使った商品開発、読書の町づくり推進、スポーツ振興など、多岐にわたるジャンルで活動中です。
町内で協力隊の活動をお見かけの際は、お気軽にお声がけください！

Volume.87
2025.2Update

矢祭町地域おこし協力隊

活動ダイアリー

Let's go!

運動を続けるためには、どうしたら良いでしょう?特にこの寒い時期は、こたつで丸まっていたいものです。そこで、やる運動の種類にもよりますが、私の経験から「運動を続けるコツ」を考えてみました。

①「1度やってみる」ー「やろうかな、どうしようかな?」と迷っているときは、エイっとまずはやってみることです。やらないと始まりません。②「仲間をつくる」ー同じ運動をする仲間をつくると、お互い様々なことを共有し合って、楽しくできるようになります。③「記録をとって自己ベストを更新していく」ー例えばランニングでは、走れる距離が伸びたり、タイムが速くなっていったりするとモチベーションが上がります。④「短時間でも良い」ーある程度の時間しないとダメだと思わないで、すきま時間などにちょっとでも良いのです。その日によって、やる時間がバラバラでも良いです。⑤「ウェアや用具をそろえる」ーウェアやシューズなど、その運動に使うアイテムをそろえるとテンションが上がります。

身体が元気であれば、何にでも挑戦できるし、楽しみも増えます。私も「時間がない!」ではなく、「時間は自分でつくるもの」と考え、運動に振り分ける時間を増やしていきたいと考えています。

鳴瀬望 Nozomu Naruse
スポーツ振興担当
山形県鶴岡市出身。前職は小学校教員。トレイルラン、スキューバダイビング、旅行（海外）、ドラマを見ることが好き。

こんにちは、読書の町づくりを担当している眞野です。あっ!という間の１月でしたね。矢祭で過ごした初めてのお正月、のんびりゆっくり過ごしました。13 日にはユーパル矢祭で聞かせや。けいたろうさんのおはなしかいがありました。子どもたちのイキイキとした表情や、サイン会後の「楽しかった～!」という感想にこちらもにっこり。私もサインを書いていただいちゃいました!現在はメディアセンターのプチ文庫に置いています。読んでくれるといいなあ。

また、子ども司書講座もいよいよ大詰め。6 年生のみんなとビブリオバトルの原稿を作ったり、実際にやってみたり……次回でいよいよ、チャンプ本が決まります!みんなの発表を聞くのも、色々な本を知れるのもすごく楽しいです。やっぱり、もっとビブリオバトルをやっていきたいなあと感じました。

さて、今月は 15 日に珈琲香坊さんとのコラボイベントが行われます!コーヒーが好きな方やゆったりとした時間を過ごしたい方、ぜひぜひいらしてください!

眞野夏凛 Karin Mano
読書の町づくり担当
青森県むつ市出身。短大卒業後、地域おこし協力隊に着任。読書、音楽を聴くのが好き。最近は backnumber ばっかり。

手元焼は民俗資料か、もしくは美的鑑賞に堪える工芸品か、こうした問いは今後手元焼の遺された物を、地域の文化財として保存対象と考えるかどうかに係わることです。あえて公に取り扱うまでもなく、多少の古美術的価値を認められながらも、所有者個人の考えに委ねられる私的所蔵品とされて、様々に残されるものかもしれません。

数年間の手元焼調査をしてきて、陶芸に関心を持つ私個人は、この一地方の単独で短期間作られた作品を、地方民間窯と同じ性質を持ちながらも、近代の、伝統的工芸から現代的な芸術観による工芸観が発生してくる時期において、その時代にとても真摯に向き合って制作された、意義深い作品と考えています。

しかし個人的な評価は、広く多くの人によって共通に思われるようにならなくては、それに関連する向上的で発展的な動きとはなりません。敬意をもって思い出される、調査した多くの作品が、今後どのようになってゆくのか、行く末が非常に不安です。使われなくなっても、この画像のような甕が、どうか末永くこの土地に在ることを祈るばかりです。

川瀬孝之 Takayuki Kawase
文化財振興担当
静岡県浜松市出身。前職は書道用品店経営。趣味は、音楽鑑賞とお茶など。

こんにちは。協力隊の酒井です。１月２０日から２３日の４日間、東京駅の目の前のとてもアクセスが良い「ＫＩＴＴＥ東京シティアイ」という商業施設で矢祭町のＰＲと特産品のＰＲ・販売会が開催されました。

私自身、ラズベリーを使ったお菓子と山椒の実を使ったお菓子を出品させて頂きました。

２日目の２１日には会場へ出向き、矢祭町のアンケート調査と生産者として販売のお手伝いもしてきました。

自分のお菓子のことになってしまいますが、興味を持って手に取って下さる方々にお声がけして商品説明すると国産ラズベリーに皆さん興味を持たれて購入してくださりました。ラズベリー自体、日本人には馴染みのないフルーツなので知名度は低いですが、国産ということころで注目してくださる方々が沢山いたので今後も自分のお菓子作りのスキルを活かして注目が集まればなと思いました。

酒井智美 Tomomi Sakai
地域食材を使った商品開発担当
千葉県柏市出身。前職はパティシエ。趣味はガーデニング、料理（お菓子作りなど）。

まちの駅 やまつり

利用無料：休憩スペース／トイレ

営業時間：平日 8：30～17：00

HP　Facebook

■休憩スペース（無料）

ちょっとした休憩やトイレ、フリー Wi-Fi の利用、コーヒー・紅茶等の無料提供、地域の観光案内、もったいない文庫の取り扱いも行っています。
待ち時間やお買い物の途中など、お気軽にお立ち寄りください。

【買ってくっぺ便】には、買い物代行と移動販売があります

■買い物代行

お買い物にお困りの方はまちの駅やまつりまでお電話ください
町内で購入出来る商品を登録料・手数料無料でお届けします。

登録
まちの駅までお電話をいただきましたら、後日担当がご自宅までお伺いします。その際に、申込書を記入していただき登録は完了です。

注文
電話受付時間
平日９時から 11 時まで
まちの駅にお電話ください。
品物おひとつから配達いたします。

配達
配達時間
当日 14 時から 16 時頃
※配達時間が前後する場合がございます
お届けの際に現金でお支払いください。

担当：小滝（千）・柴田（恵）

【問い合わせ】

まちの駅やまつり　☎：0247-57-5659　FAX：0247-57-5660

■移動販売

●到着時間が前後する場合があります

担当：鈴木（尚）

月曜日
★内川地区
・金澤 利光さん宅（13：30 頃）
・芳賀 きよ子さん宅（14：00 頃）
・古市 勝弥さん宅（14：10 頃）
・茗荷地区（15：00 頃）

火曜日
★石井地区
・やまつりファーム（13：30 頃）
・下石井中野内地区（13：45 頃）
・和田 始子さん宅前（14：00 頃）
・櫻の苑（14：10 頃）
・舟見地区（14：30 頃）
・せせらぎ荘（15：00 頃）

水曜日
★宝坂・追分地区
・竹野内地区池の前（13：30 頃）
・古市園芸前（14：10 頃）
・鶴ヶ池バス停（14：40 頃）
・古市 文雄さん宅前（15：00 頃）
・追分地区（15：15 頃）

木曜日
★下関・大供地区
・中山ニュータウン（13：30 頃）
・沼田 ミチ子さん宅（14：00 頃）
・天神前バス停（14：20 頃）
・古市理容室前（14：30 頃）
・佐川商店前（14：50 頃）
・折屋（15：40 頃）

※大雨、大雪の日は運行を休止する場合があります。また、予告なしに運行を休止する場合がございます。

俳句　ふきの芽句会

北風をつかみて明日を占いり　鈴木　良夫
我が人生背負「投」名手は過去のこと　大森　泰幸
春どなり白寿と聞きし人光る　原　通夫
日脚伸ぶ子犬連れ出す二人子　スミエ
スケボウで調子にのってスッテンコ　千世子
いい調子欲しくて銚子グイッと飲む　敏伸
なつかしい調子はずれの君のうた　タケ子
猛練習ゴルフの調子池にポチャ

川柳　山野井金沢鶴亀会

調子とは良くも悪くも紙一重
人生も調子良く波にのれれば最高

短歌　矢祭町短歌会一月詠草

朝なれば周り一面銀世界　片野　盛好
雪が多いは豊作の兆し
「おばあちゃんの料理を食べに帰ります」　片野　税子
母なる孫のスマホ気ぜわし
ノーモア広島ノオーモア長崎と八十年　松本　義勝
日本被団協ノーベル賞受く
友よりの今年限りとの年賀状　佐川　文江
繰り返し読みさびしさつのる
年ごとに少なくなりし年賀状　星　初枝
いただきし文面楽しく読めり
新年をしずかに妻の酌で飲む　齋藤　吉民
老いの坂道ふたりで登る

LIBRARY LETTER

図書館だより

2025 2

寒い日が続くこの頃！
おうち時間には温まる飲み物をお供にしよう

Text & Design: 大羽未准 畠山青畝（地域おこし協力隊）

PICK UP

2025.1.13 Mon.

聞かせ屋。けいたろうさんのおはなしかいを開催！

もったいない図書館開館 18 周年を記念して、絵本作家「聞かせ屋。けいたろう」さんのおはなしかいをユーパル矢祭にて開催しました。ウクレレを軽快に弾きながらの手遊び歌や、読み聞かせも身振り手振りをまじえ、時には絵本を持って会場を回ったりと楽しい会をしてくれました！「面白い！」と喜んでくれる子どもたちに私たちも嬉しくなりました。けいたろうさん、ありがとうございました！

EVENT

2.6 THURSDAY
2025.2.6 Thu. 10:00 - 12:00
あかちゃん／プレママ・プレパパおはなしかい
もったいない図書館　特別書庫

2.16 SUNDAY
2025.2.16 Sun. 10:00 - 11:00
2月出前おはなしかい
小田川文庫　中央団地文庫

2.20 THURSDAY
2025.2.20 Thu. 10:00 - 12:00
大人のためのおはなしかい
もったいない図書館　特別書庫

RECOMMEND

「珈琲香坊」さんとのコラボイベントを開催！

2 月 15 日（土）に「コーヒー × ホン」と題して、珈琲香坊店で珈琲と本を楽しむイベントをします！今回は中高生にも参加してもらいたいと、土曜日での開催となりました。珈琲や本に興味のある学生さん。喫茶店での読書時間はいかがでしょう？

INFORMATION　今月の休館日：毎週月曜日 ※祝日開館（翌火曜日休館）　お問い合わせ：矢祭もったいない図書館　☎ 46-4646　FAX: 57-7500

TOWN TOPICS

まちの話題

身近な情報を寄せてください。自立総務課総務グループ
TEL ０２４７－４６－３１３１　FAX ０２４７－４６－３１５５

町内の無火災・無災害を願う

▶矢祭町消防団出初式

１月４日（土）、令和７年矢祭町消防団出初式が矢祭中学校校庭にて挙行されました。今年も山村開発センター駐車場から矢祭中学校までの道程を堂々と行進し、地域住民へ無火災を呼びかけました。また、式典では、規律正しい観閲・通常点検ののち、各種表彰等が行われました。

２月１日現在による調査を実施

▶２０２５年農林業センサス指導員・調査員説明会

１月７日（火）、矢祭町山村開発センターにおいて２０２５年農林業センサス指導員・調査員説明会が開催され、指導員３人を代表して松本義勝さん、調査員４６人を代表して篠田周平さんに佐川町長が委嘱状を伝達したのち、調査方法や今後の日程などが説明されました。

人権尊重思想の普及のために尽力

▶矢祭町人権擁護委員委嘱状伝達式

１月１０日（金）、矢祭町人権擁護委員委嘱状伝達式が役場第１会議室にて行われ、宗田真澄さん（新任）に佐藤福島地方法務局白河支局長から委嘱状が伝達されました。任期は、令和７年１月１日から令和９年１２月３１日までの３年間となります。

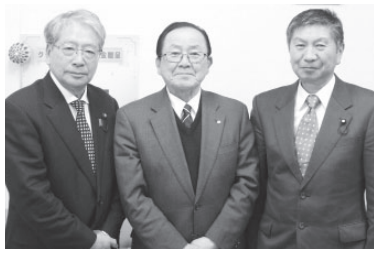
だんごさし行事で無病息災を願う

▶やまつりこども園だんごさし

１月１４日（火）、 やまつりこども園各教室のテラスにおいて、だんごさし行事が行われました。幼児教育部の園児が各教室で赤・緑・黄色・白のだんごをそれぞれ作り、ミズノキに縁起物の飾りとともにだんごをさしてテラスの柱に設置し、１年間の無病息災を願いました。

町の子育て施策を視察

▶刈羽村議会の議員が来町



１月１７日（金）、新潟県刈羽村議会の廣嶋一俊議長と猪俣一憲議員が矢祭町で実施している子育て施策「すこやか赤ちゃん誕生祝い金」の視察のため来町しました。両氏は、事業の実施経緯や現状等について担当課職員へのヒアリングを行いました。

３団体合同で閉級式を迎える

▶生涯学習合同閉級式

１月１８日（土）、山村開発センター大集会室において、令和大学・女性団体連絡協議会・ふるさと探検隊合同の閉級式が行われました。式では、各団体への参加賞が菊池教育長より授与され、各団体の代表者がそれぞれ１年間の活動に対するお礼のことばを述べました。

受験生にエール

▶合格さんバッジ贈呈式

１月２３日（木）、矢祭中学校において町観光協会主催の合格さんバッジ贈呈式が行われました。同月、矢祭山公園にある夢想滝近くの合格さん地蔵前で、中学校３年生の合格祈願が行われ、パワーが封入されたバッジが町観光協会会長である佐川町長から生徒代表へ手渡されました。

やまつり

議会だより

No.171
2025.2.7

第9回定例会
12月9日～13日

全議案 原案通り可決！

12月定例議会は、12月9日から13日までの5日間の会期で開催されました。初日は町長から提案理由の説明が行われ、続いて担当課長から議案の内容説明がありました。2日目は議案調査のため休会。3日目と4日目は一般質問が行われ、7名の議員が登壇し町に質問をしました。5日目の最終日は議案審議が行われ、条例の一部改正1件、令和6年度各会計補正予算5件が提案され、合計7議案が原案のとおり可決されました。また、追加議案として条例の一部改正1件が提案され、原案のとおり可決されました。

条例

◎矢祭町犯罪被害者等支援条例の制定（議案第78号）

令和4年4月1日付けの福島県犯罪被害者等支援条例の施行に伴い、関係機関が連携して支援を行うことによって、犯罪被害者、及びその家族等を地域で支え、犯罪被害からの早期回復と被害の軽減を図るとともに、見舞金制度を導入することによって、犯罪被害者等の生活の再建を図り、誰もが安心して暮らすことができる社会を実現するため、新たな条例を制定するものです。

◎矢祭町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（議案第79号）

福島県人事委員会の勧告に伴い、若年層を中心に全ての号給の給料月額を引き上げるとともに、一般職員と定年前再任用短時間勤務職員の期末・勤勉手当の年間支給月数を引き上げるため、関連する条項について、所要の改正を行うものです。

◎矢祭町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例（議案第85号）

福島県の特別職に支給される期末手当の引き上げに伴い、町長等の特別職に支給する期末手当の算定基礎額に乗ずる割合を改定するため、所要の改正を行うものです。

補正予算

◎令和6年度矢祭町一般会計補正予算（議案第80号）

歳入における減収補てん特例交付金、国民健康保険基盤安定負担金、障がい者自立支援費等負担金、児童手当負担金等の増、歳出における職員給与、職員共済組合納付金、障がい者就労継続支援事業費、児童手当、農業施設等補修工事設計委託料等の増、道ケ作堰土砂吐きゲート取替工事に係る支障電柱移転補償金、スクールバス運転業務委託料、予備費等の減が主な補正の内容です。

◎令和6年度矢祭町国民健康保険特別会計補正予算（議案第81号）

歳入における財政安定化繰入金、第三者行為による損害賠償金収入等の増、及び保険給付費等交付金、保険基盤安定繰入金等の減、歳出における一般職員給与、過年度分保険税還付金等の増、及び予備費の減が主な補正の内容です。

◎令和6年度矢祭町介護保険特別会計補正予算（議案第82号）

歳入における保険者努力支援交付金、介護給付費負担金等の増、及び調整交付金、低所得者保険料軽減繰入金等の減、歳出における一般管理費、居宅サービス費、居宅介護サービス計画費、高額介護サービス費等の増、予備費の減が主な補正の内容です。

令和6年度各会計別予算補正状況（議案第80～84号）

（単位：千円）

会計名		既定額	補正額	予算総額
一般会計		4,836,689	39,869	4,876,558
特別会計	国民健康保険	615,790	△ 2,243	613,547
	介護保険	664,777	△ 5,458	659,319
	後期高齢者医療保険	150,867	517	151,384
水道事業会計	収益的収入	159,771	△ 267	159,504
	収益的支出	159,771	△ 267	159,504

◎令和6年度矢祭町後期高齢者医療保険特別会計補正予算（議案第83号）

歳入における普通徴収保険料の増、特別徴収保険料、一般会計繰入金の減、歳出における後期高齢者医療広域連合納付金の増、福島県後期高齢者医療広域連合分賦金の減等が主な補正の内容です。

◎令和6年度矢祭町水道事業会計補正予算（議案第84号）

第3条予算の収益的収入における営業外収益の一般会計補助金の増、長期前受金戻入の減、収益的支出における営業費用の茗荷浄水場滅菌機修繕費、県人事委員会勧告に伴う給与等の増、固定資産除却費の減、長期前受金戻入額修正に伴う特別損失の過年度損益修正損の増が主な補正の内容です。

第8回臨時会

令和6年第8回臨議会は、11月11日午前10時に招集され、専決処分2件、令和6年度一般会計補正予算1件が提案され、原案のとおり可決されました。

専決処分

◎専決第6号 令和6年度矢祭町一般会計補正予算（議案第75号）、専決第7号 令和6年度矢祭町国民健康保険特別会計補正予算（議案第76号）

緊急を要するため、地方自治法第179条第1項の規定により、やむを得ず専決処分をしたので、同条第3項の規定により報告し承認を求めるものです。

令和6年度各会計別予算補正状況（専決第6号、第7号）

（単位：千円）

会計名		既定額	補正額	予算総額
一般会計		4,826,834	5,414	4,832,248
特別会計	国民健康保険	615,771	19	615,790

補正予算

◎令和6年度矢祭町一般会計補正予算（議案第77号）

歳入におけるＩＲＵ光ファイバ支障移転工事に係る県からの物件移転補償金の計上、歳出における山野井地内で施工されている国道１１８号の道路改良工事に伴うＩＲＵ光ファイバ支障移転工事の計上、次年度実施予定の矢祭中学校北校舎長寿命化改良工事に伴い、文部科学省に提出する事業計画書及び中長期修繕計画書を作成するための建物劣化状況等調査委託料の計上、予備費の減額が主な補正の内容であります。

令和6年度一般会計予算補正状況（議案第77号）

（単位：千円）

会計名	既定額	補正額	予算総額
一般会計	4,832,248	4,441	4,836,689

一般質問（要旨）

12月議会定例会の一般質問は、11日と12日に行われ、7議員が登壇し町政全般について執行部の考えを質しました。

一般・文化・教育スポーツ・行財政・福祉・観光・防火・防災・防犯・交通安全行政

大森泰幸議員

質問　「地域振興事業」について

問　地域振興事業について町長の所感を伺う。

答　**町長**

地域の振興には、経済の活性化につながる施策をとらないと地域が盛り上がらない。人口減というのは、日本社会の現状であり、人の移動はあっても全体としての人口減は避けられず、町が抱える課題でもある。他町村との連携強化を図りながら、観光客の流入、関係人口・交流人口の拡大、それらを首都圏に一番近いこの地の利を活かしながら、町の活性化に努めてまいりたいと考えており、来年度、事業課に地域振興グループを設けたいと思っている。

問　第40回青少年の主張大会の感想を伺う。

答　**町長**

私もこの主張大会は楽しみにしている。子どもたちも町の未来を思い、あれだけ町を思いながら発表するということは、子どもたちが成長する中で、子どもたちとともにどういう町をつくるかということが大事だと思う。子どもたちの発想力、読解力というものも伸びてきている。教育の大切さをうたいながら、今後の子どもたちの成長をしっかり見守るのも、行政の役目だと強く思っている。

問　教育長はどうか。

答　**教育長**

郷土を愛する心を感じることができた。子どもたちにとってふるさとということを自覚する大事な機会ではないかと思っている。今後、行政運営の参考として進めていければと思っている。

質問　子ども議会等について

問　これまでに実現したこと、子どもたちにもこういう反応があったということを伺う。

答　**教育長**

小学校校庭に設置したターザンロープや子どもたちの発案によって作製したお菓子がある。菓子類を給食で試食したり、または町の商店で販売したりした。読書推進に向けた子どもたち作成のポスターの掲示も行っている。

問　インターネットについて、子どもたちの要望があったようだが、総務課あるいは教育課で何か考えているか伺う。

答　**教育長**

10月から教育ＣＩＯ補佐官を採用しており、町のほうではＣＩＯ補佐官を採用して、町全体のＤＸ化を図っており、子供たちに関して言えば、現在、子どもＩＣＴアドバイザーを育成している。今年度15名もの生徒が入部し進めている。学校全体のＩＣＴ、ＧＩＧＡスクール構想も進めており、今後、ＩＣＴ補佐官と連携しながら、デジタル部の活動等についても広げていきたいと考えている。

問　福島大との連携について伺う。

答　**教育長**

まず大学生が小中学生の希望者に課外授業を行う算数、数学講座を行い、児童生徒の学習意欲をさらに引き出すものとなった。また、大学生が小中学校で算数、数学の授業を行う交流学習会を実施し、教員を目指す大学生が授業を行うということで、学生たちにとってよい機会となったと、大学側からも大変喜ばれている。来年度に向けて、算数・数学学習官の応募が全国から寄せられており、その試験官として、大学教授に協力をいただきたいと考えている。また、全教職員に対して、学力向上に関する講演会を行ったが、その際も大学教授からご講演をいただいた。

問　公民館の建設について、大学との連携は今の段階であるかないか伺う。

答　**教育課長**

今のところ大学との関わりはない。

問　検討委員会の答申はいつになるのか伺う

答　**教育課長**

12月6日に、委員長、副委員長より、教育長に提出されている。

問　答申が教育長になった見解を町長に伺う。

答　**町長**

この答申に関しては教育の一環として、教育関係で調整してから、私の方に報告される。今後は公民館建設と駅前開発などとも比べて判断をしていきたいと思う。

問　検討委員会の中で建設場所はもう決定しているのか伺う。

答　**教育課長**

公民館の建設場所は、今回の答申をもって決定するものではなく、今後策定する建設計画の参考にしていくものであり、現段階では未定となっている。今後、答申内容を参考に、町当局で方針を決定していく。

問　今の段階で町民に検討委員会の内容を公開するのか伺う。

答　**教育課長**

答申については、今後、町民へ公開したいと考えている。

問　改めて建設委員会を立ち上げるのか伺う。

答　**教育課長**

建設検討委員会には、引き続きアドバイスをいただきたいと考えている。

問　誰からアドバイスを受けるのか伺う。

答　**教育課長**

今組織している公民館の建設検討委員会の皆さんに、引き続きお願いしたいと考えている。

問　事業総額や町の財政負担、財源は、今の段階では検討委員会では検討していないのか伺う。

答　**教育課長**

今後、実施設計書を作成し、事業費を算出していくことになるため、具体的な総額は未定である。国の補助が受けられる、複合施設とし、可能な限り町の財政負担の軽減に努めていきたい。

問　大いにオープンな論議が必要だと思うが、どんな風に考えているのか伺う。

答　**教育課長**

今後、設計等をまとめた後、全員協議会等で議員の皆さんにも説明したいと考えている。

問　文化、スポーツ等大いに矢祭を宣伝していく、そのための一つとして、今回の芸能人の方に盛り上げることをやってほしいと聞いている、これについて伺う。

答　**事業課長**

今年初めて矢祭町出身のあばれる君に出演をしてもらうことができ、短い時間ではあったが、お笑いライブや子供たちとのクイズで交流をし、当日は１，８００人を超える来場者があり、かなり人を呼び込む効果があった。ゆくゆくはふるさと応援大使に委嘱をし、さらに矢祭町のＰＲをしていただきたいと考えている。

問　文化祭で菊花展が行われ、スインピア矢祭のロビーを会場に展示をしており場所の選定、場所の使い方など、今後も引き続きよりよいものに検討していただければと思うが、いかがか。

答　**教育課長**

会場の段差や他の展示会場と離れていることが課題となっており、次年度の展示会場については、他の展示同様ユーパル矢祭に展示ができないか、文化団体連絡協議会と協議をしている。

問　ふくしま駅伝参加者、あるいは見学者と競技者に対する配慮を伺う。

答　**教育課長**

今年度より中学校の教員にもコーチとして参加していただき、生徒の状況を一緒に考え、共有し練習を行ってきた。保護者の送迎の負担を軽減するため、練習習を中学校に移し、部活動後そのまま練習に参加できるように工夫したため、保護者の送迎の負担軽減につながったと思っている。

今年度は15名の中学生がチームに参加したため、その子供たちが日々の練習に積極的に取り組み、今回のような良い結果をもたらしたと思っている。選手には、ユニホームやウインドブレーカー、スポーツドリンク等の提供も行っており、練習の際に必要なものは実行委員会が準備し、負担軽減を図っている。また、車の燃料費や交通費等、極力実行委員会の運営費より支出している。

問　矢祭はスポーツの町だというふうにして欲しいという声に応えていただきたいと思うが、いかがか。

答　**教育長**

今回のふくしま駅伝での活躍、ふれあい駅伝での町民挙げての活躍等は、昨年度から小学校に陸上クラブを設置し、その陸上クラブと中学校陸上部の部活動の指導がつながった成果だと考えている。広報も含めて、今後さらに拡充し、進めていきたいと考えている。

質問　「矢祭町の財源の有効活用と重点事業」について

問　矢祭の財源活用について、どのような考えを持っているのか、町長に伺う。

答　**町長**

非常に町内の公共施設が古くなってきている。庁舎やデイサービス、レスポアールなど比べながら、それと道の駅の構想、これも第７次総合計画に入れていきたい。町内の人口も減っていく予想がされており、住民や町民の幸せ、そして安心感を構築しながら、矢祭町の魅力を対外的に発信しないとやっていけないものがある。首都圏のほうと行政間の交流を図っていきたい。今後の日本の将来、矢祭町の将来も、第７次計画のほうに組み入れていきたいと強く思っている。

問　駅前周辺の開発について、用地の買収が必要なのか、伺う。

答　**自立総務課長**

東館駅周辺整備事業、東館駅の改修工事関連での用地取得については、基本的にはＪＲ所有の駅前の土地をＪＲから購入したいと考えている。

問　事業総額、財政負担、財源はどうなるのか伺う。

答　**自立総務課長**

内閣府のデジタル田園都市国家構想交付金が活用できないか内閣府と協議を行っている。活用できれば、工事費の２分の１を交付金として充当できるということで、現在、話を進めている。

質問　矢祭町における高齢者家庭数の推移（2人以下）予想、経済不安について

問　生活支援について、次年度以降の実施計画があるか伺う。

答　**自立総務課長**

正式に国から通知が来ているわけではないが、概ね1人当たり、非課税世帯3万円程度、プラス子育て世帯への給付金等については、本町でも実施したいと考えている。

問　高齢者支援の問題で、補聴器購入の検討、ほかの自治体に聞いてみるとか、関係課のほうで進んでいるのか伺う。

答　**町民福祉課長**

補聴器の購入助成事業については、今のところ導入する予定はない。

質問　矢祭山商店街について

問　矢祭山の商店街火災以後の状況について、どういう対応をしているのか伺う。

答　**事業課長**

矢祭山で火災に見舞われた方には、災害被災者を対象とした町営住宅の一時使用ということで、通算して2年間まで町営住宅を利用していただけることとしており、その間は住宅使用料免除等の対応をしている。

問　どこの商店街も大変であるが、矢祭山公園内の駅舎前について、町としては今後どのようなことを考えているか伺う。

答　**町長**

本町の観光資源である矢祭山公園整備は、非常に大事な要素で、今後、吊り橋周辺の公園の活用、キャンプ場の整備、水郡線を使った観光ルートの対応等を考えており、また、大子町との観光の協定も結ぼうと思っている。久慈川流域の行政間の観光資源の連携は大事なものだと思っている。

質問　町の防火・防災について

問　今年の防災の日、当日実施した内容を伺う。

答　**町民福祉課長**

矢祭町防災の日は10月12日で、この日にあわせて各指定避難所へ設置している防災倉庫の定期点検を実施した。また、ＩＰ電話を使い、矢祭町防災の日に合わせて、町民の防災意思を高めるために広報等を実施した。

問　山下の条例が制定されてからの搬入者の動き、西郷村と同じように条例に基づく強制力が発揮されるのか伺う。

答　**事業課長**

福住地内の盛土現場は、保安林を含む山林となっているため、森林法に基づき、保安林については令和7年1月末を期限とする土砂撤去命令を6月に県が発出しており、従わなかった場合の対応については現在、法務相談中とのことである。また、保安林以外の山林については、盛土規制法による対応を予定しており、県と警察で足並みをそろえ対応を検討している。

問　県の条例実施に従うという理解でよろしいか。

答　**町民福祉課長**

町では条例制定後、業者のほうに文書等で通告しており、その後は特に行っていない。土壌汚染対策の観点から、県のほうの動きも今のところない状況である。

問　土砂の堆積、搬入したところの反対側から水が流れてくるので、一時的に土のうを積んでいるが、狭くなって困る。いつまでやっているのか伺う。

答　**事業課長**

県道の側溝について、山からの雨水等が暗渠を伝って山林に流れていたが、そこが盛土になってしまったために行き先がなくなった。そのため土のうを積んで、別なところに流れるようにしていただいた。長い期間になれば、別な方策で道路排水を処理することを検討していただく。

質問　町の防犯、交通安全について

問　防犯灯の設置、信号機の設置について伺う。

答　**町民福祉課長**

現在、石井地区で2基、既に設置済み、また、東舘、矢祭支部でも予算の範囲内で設置予定であると聞いている。信号機設置は今年度中に設置を予定しているが、時期については未定。

問　山野井のかさ上げ工事が進んでいるが、防犯灯が切れている。ぜひ援助をしていただければと思うが、いかがか。

答　**町民福祉課長**

今、電柱の移設等が行われている。現在あるものについては移設してもらえる。

問　信号の設置について、どのような感じであるのか。

答　**町民福祉課長**

棚倉警察署に確認したところ、まだ時期が確定していないが、今年度中に設置予定となっている。

一般・教育・防犯行政

本多勇也議員

質問　人口減少対策について

問　人口戦略会議で744自治体で人口減少が深刻化し、将来消滅する可能性があるとの推計が発表された。矢祭町、あるいは近隣の町村もその中に入っており、町民の中からも不安視する声も聞かれる。町として、どのように考えているか伺う。

答　**町長**

今、未婚化、無婚化といったものが本町をはじめ各自治体で多くなってきている。それでも本町は当初から早い動き方をしており、県のほうでも矢祭の取組は称賛されている。今、結婚支援のほうも行動力がある方で、大田原、大子、大宮、太田、いろんな交流のきっかけをつくっている。これも人口減対策の中の一つだと思っている。また、女性の流出が県内は多く、女性が働ける職場づくり、そういった企業誘致も一つの材料の中には入れており、様々な情報網を活用し、今後いろんな意見等をいただきながら、町の活性化に努めていきたいと思っている。

問　やはり子育てや住宅の支援、女性の雇用とか子育て環境を整えるといった、よそから人を持ってくるんじゃなくて、矢祭町で人口を増やすような施策、子育て住宅などを町で建て、10年後には住宅を渡す、そういった思い切った施策なども必要ではないか。一番手っ取り早く移住、定住の窓口をつくってはどうか、その辺の考えを伺う。

答　**事業課長**

移住、定住に向けた交流人口拡大事業、子育て世帯への住居支援等を行っている。しっかりとＰＲしながら、今後の人口減少対策に取り組んでいきたいと考えている。

質問　不登校支援について

問　不登校の生徒が増えている、過去最多という報道もあった。この問題は保護者の学校に対する意識の変化、行きたくないなら無理に学校へ行かなくてもいいというような意識が根強いと思うが、学校の現場、教育長はどのように考えているか伺う。

答　**教育長**

全国的に、また県内でも不登校が増えている状況である。矢祭においては、全く学校に来られていないという子はほとんどいないし、いじめを起因とした不登校は現在のところない。親の考えが変わってきたという話もあったが、学校の受け止め方も変わらなければならないと思っており、学校に行くことだけで全て解決だとは思っていない。なお、町では不登校児童生徒が気軽に足を運んで、様々な活動ができる教育支援センターを設置した。今後よく周知をし、子供たちの居場所として活用いただけるように進めてまいりたい。

問　教育支援センターは、学校内につくったのか。

答　**教育長**

学校内では、足が遠のいている場所に行くというのはつらいことなので、現在、保健センターの図書室をお借りして、「にじいろ」という名前で教育支援センターを設立した。

問　「にじいろ」は小学生、中学生、一緒の1クラスなのか。

答　**教育長**

クラスという考え方よりは、来た個人個人に対して、対応していくという形で、前の日に行きたいという連絡を教育委員会にし、教育委員会が学校に連絡するシステムになっている。子供が、明日は「にじいろ」に行きたい、明日は学校の別室登校をしたいとか、いろんな考え方があると思うので、その前の日に対応できるようにしており、個別の対応を行っている。

質問　部活動の地域移行について

問　今、矢祭中学校ではどのようになっているのか伺う。

答　**教育長**

部活動の地域移行は、2年前に国から示された方針であり、矢祭町では令和4年度に町部活動地域移行検討委員会を立ち上げ、部活動の地域移行について検討、協議を行っている。矢祭中の現状は、現在、部活動指導員を4名配置し、また、外部コーチを8名、全ての部活動に指導員または外部コーチがつくようにしている。また、地域おこし協力隊が図書部について支援をしているということで、デジタル部、水泳部、図書部については学校から切り離した地域移行の形で進めている。

問　教職員の働き方改革、負担軽減というのが主な目的なのか伺う。

答　**教育長**

働き方改革もあるが、昨今の人口減少により、児童生徒数が減ってきていて、山間地域ではチームが成り立たないという状況もあちこちで見られることから、地域で部活動を見る、要するに継続的に持続可能な形で進めていく、その両方の理由からこのような話が出てきたのではないかと考えている。

問　地域移行ということで、誰でも指導者、教えるわけにはいかないと思うが、考えを伺う。

答　**教育長**

全国の教育長会、校長会とかいろいろなところから、非常に難しいという話が要望としてあがった。国の地域移行に関しての財政措置は無く、それでは難しいだろうということであった。その後、中学校の教員も地域に入り、地域と学校が共同で進めるという方針に転換した。東白川4町村で、その検討委員会がそれぞれ立ち上がったということなので、来年度に向けて準備委員会を矢祭が中心となって進めることになっており、1月後半ぐらいに、準備委員会を行って、令和7年度に正式な委員会を立ち上げ、この郡の地域移行に関する話し合いを進めてまいりたい。

問　今回、東白川郡のスポーツ推進委員の中でも研修会等を開いたという話も聞いた。指導できる立場にある人の研修だったと思うが、推進委員の研修会ではどうだったのか伺う。

答　**教育長**

スポーツ推進委員会の郡での話合いの中では、それぞれの町村でその部活動移行に関する委員会が立ち上がっていなかったので、何かよそごとのような感じで聞いていた町村もあったと聞いている。今は状況が変わってきている。４町村で検討委員会がつくられており、今後さらにスポーツ推進委員やスポーツ協会も含めて、話合いを拡充できるのではないかと考えている。

質問　高齢化時代の防犯について

問　高齢者の防犯について、最近、何か治安が悪くなったねという話を聞く。単身の高齢者、あるいは老老世帯等、老人だけで暮らしている家庭が多い。老人等を指導する立場が無い中で。今後どのようにしていくか、考えを伺う。

答　**町民福祉課長**

ご近所同士で異常を知らせる緊急通報システム構築についてはちょっと難しいと考える。ＩＰ電話を利用し、緊急の際にも、ある程度対応ができると考えており、町民の方に周知していければと思っている。侵入犯罪につきましては、巧妙かつ凶悪な手口が増えている。最新の防犯知識を得て対策を立てることはもちろん、不審な人がいたら、また何かおかしいことがあれば、ためらいなく１１０番等に通報していただければと考えている。

産業・防災・福祉・家庭教育行政

郡司浩子議員

質問　「やまつり元気祭」について

問　11月３日に開催され、大変にぎわいがあって、よかったと思う。しかし、出店の希望を断られたと聞いた。こういった案件がなぜあったのか。やまつり元気祭のもともとの理念、どういったことで始まったのかを併せて伺う。

答　**事業課長**

昨年開催した中学生との意見交換会、「矢祭の未来を語る会」において、やまつり元気祭に企画から携わりたいという意見があり、中学生を対象に実施したアンケートを踏まえ、今年はキッチンカーを多く手配することにした。結果、町内の出店者の数が限られてしまった。やまつり元気祭の基本理念は、震災以降低迷している矢祭町の活気を取り戻すため、町内一丸となったイベントの開催により、農商工の連携や町特産品の再発見による、町のさらなる活性化につなげていくことを目的としている。

問　今回あばれる君に出演していただいたが、芸能発表会の時間帯と重なってしまった。なぜあの時間帯になったのか伺う。

答　**事業課長**

前日に郡山でイベントがあり、その関係で移動時間を考慮すると、日程の調整がついたのがその時間帯だった。

問　実際キッチンカーはあまり出ていなかったようだが。

答　**事業課長**

キッチンカー６台、町内の１台と大子町と大玉村、地域おこし協力隊の関係でつながりがあった方に来ていただいた。

問　今までのイベントもやってもらえたらよかった。ぜひその辺を踏まえた上でお願いしたいと思うが、いかがか。

答　**事業課長**

ＰＲする場ということで、初心に立ち返って、来年度また皆さんに喜んでいただけるような元気祭にしていきたいと考えている。

問　町長からも一言。

答　**町長**

また来年もあばれる君が来るというようなことで進めていきたい。やはり地域の子供たちが、なにしろ喜んだ。子どもたちに良い体験、思い出をつくることができ、私は非常に良かったと思っている。来年、出店のほうは今回の反省も踏まえて、盛大なお祭りになるようにやっていきたいと思う。

質問　女性職員の配置について

問　女性視点の防災、減災の対応ができるように、防災担当部署への女性職員の配置を推進してほしい。それから、女性の消防隊の設立、防災会議等の意思決定の場へ女性の参画を推進すべきだと思っているが、当局の考えを伺う。

答　**町長**

女性からの発信、女性からの要望、女性の視点からの呼びかけ、ＰＲ活動が大事だとは思っており、今後検討していきたい。

問　防災会議には現在のところ、女性は入っているのか伺う。

答　**町民福祉課長**

過去の会議の中では入っていなかった。今後行う会議の中には、現条例の中で女性に参画いただくように検討していきたいと考えている。

問　日赤の団体の方にも、意見を聞けるような形も含まれると、スムーズに物事が運ぶのではないかなと思うが、いかがか。

答　**町民福祉課長**

避難所の開設等は、役場職員等も担当しており、その中に女性は必ず入っている。日赤奉仕団についても、一緒に炊き出しに加わってもらう。

問　町民の意識向上のための、何か仕掛けを考えてはいかがか。

答　**町長**

防災の日は、町民が防災、減災に対する理解と危機感を持つという意味もある。今後は、町民の安全・安心、財産を守るという使命もあり、しっかり構築しながら努めることが大事だと思っている。

問　防災の日ということを活用し、町民の心の準備のため、何かあったときの準備の日だということを、気楽にできるようなことを今後考えてみてはいかがか。

答　**町民福祉課長**

災害等が起こった場合、スムーズに動けるように、その準備というのは大変大事なことだと思っている。いろいろ訓練等実施する際に、段ボールベッドの設置の仕方などについて、やってもいいかなと思う。

質問　セルフネグレクト対策について

問　町としては、自己放任（セルフネグレクト）の調査や把握などは行っているのか伺う。

答　**町民福祉課長**

特化した調査等は行っていないが、近隣住民などからの情報等により困窮世帯、独居世帯など、支援が必要な世帯は、全てではないが、把握している。

問　対策としてはどのような対策をしているのか伺う。

答　**町民福祉課長**

何らかの支援が必要な世帯に対し、フードバンクの提供や就労サポート、生活保護の相談、その他関係機関とのケース会議などを開催し、それぞれの対象者に必要な支援をできる限りで行っている。

問　既存の予算の中で、何か人的なことで足りない部分はないのか伺う。

答　**町民福祉課長**

フードバンクのほうは、社会福祉協議会で提供するということで、予算取り、物の確保はしてある。また生活保護など、相談については県につなげているような状況でございますので、予算的に足りないということはない。

問　重層的支援体制整備事業が令和３年から、手挙げ方式でいろんな形の支援ができる形になっている。その中で全て重層的、１つの窓口でできる形にはなっている。ある意味、予算取りができやすいという話を聞いた。包括的な相談支援事業や地域づくりの事業、他機関が連携し、協力してアウトリーチ型で、保健師さんとか、精神的なものであれば行っているだろうし、介護ケアの方も行っている形でできるようなものであり、利用すると幅が広がると思うがいかがか。

答　**町民福祉課長**

相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援、そういうものを１つの窓口で行うのは大変理想的なことでいい事業だと思うが、人材的なことなど、新たな人員確保などがあり、事業実施は難しい状況である。

問　今回は、準備移行のための金額のところが交付されるというものであり、その辺も含めて考えてみて、構築のために準備してはどうか。

答　**町民福祉課長**

各支援については、実施しているところであるが、今のところ一本化は難しいと考える。

問　住民のことを考えると窓口はというところがある。今後ぜひつなげていただきたい、検討していただきたいと思うが、町長いかがか。

答　**町長**

検討課題の一つであり、支援における大事な施策であるので、しっかり検討してまいりたいと思う。

質問　子育て、親育ち講座について

問　子育て、親育ちの講座を幼児期、小学校入学時、中学校入学時など、家庭教育支援のための学習機会として提供してはどうか。親の不安の解消や昨今の課題となっている、ＳＮＳ等の親子での向き合い方なども学べる機会を提供できると思うがいかがか。

答　**教育長**

これまで入学時の説明会や相談会など、様々な学べる機会を提供してきた。教育委員会としても拡充することが難しい部分もあるが、内容を精選して、何ができるか検討し、足りない部分については補うことができるような措置を考えてまいりたい。

問　指導主事とスクールソーシャルワーカー相談会という形で、小学校入学時と幼稚園入学時にされているということは、個別にされているということか。

答　**教育長**

親の申出を受けて個別に行っている。入園してから、また入学してからも継続的に相談を受けている方もおり、非常に好評である。

問　皆さんがいるときにお話をしてもらうことも大事なのかなと思う。文書でも出していただいているということで安心であるが、やはり耳で聞いて目で見てということは、やはり記憶に残る。ぜひ体系的にやっていただけたらなと思うがいかがか。

住民・一般・教育・防犯行政

片野一也議員

質問　住民票等各種証明書のコンビニ交付について

問　コンビニ交付が全国的に増加しているが、福島県内の市町村の実施状況はどうなっているのか伺う。

答　**町民福祉課長**

59市町村のうち40市町村が導入しており、東白川では棚倉と塙町が導入している。西白河郡は全ての町村で導入している。

問　本町におけるマイナンバーカードの交付状況と現在住民窓口で行っている各種証明書等の交付状況、交付事務等のうちコンビニで交付可能な種別、それにはどのくらいの費用がかかるのか伺う。

答　**町民福祉課長**

マイナンバーカードの交付状況は、11月17日現在で、交付済みにつきましては４，４３９件、この中には再交付分も含まれており、人口に対し約85％の交付となっている。住民窓口で行っている交付事務等のうち、コンビニ交付で可能な種別は、住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍証明書、戸籍の附票の写しの５種類で取組状況が50％を超えている。一部では住民票記載証明書が入っている。発行の料金は、市町村によって異なるが、福島県内で、戸籍証明書が１通３５０円から４５０円程度、ほかの証明書等は、１通当たり２００円から２５０円程度である。

問　役所の窓口に来た場合と、コンビニで交付された場合、金額に違いがあるのか伺う。

答　**町民福祉課長**

市町村によって違いはあるが、通常の料金に、少し上乗せした形で料金設定はされている。

質問　行財政改革と機構の見直しについて

問　経常的経費の中にあって、人件費、それから需用費や役務費。特に、ペーパーレス化や通信費等結構な金額に上ると思うが、デジタル化が進む中で削減可能な代表的なものではないかと考えている。ＤＸを推し進める中で、このコスト削減というものにどのように向き合っていくのか、現状での分析を伺う。

答　**町長**

これからの行政改革は、大事なものだと思っている。

問　町存続に直結する課題に対し、町の業務の見直しとともに、役場機構も直面する課題に特化する必要があるのではないか。改めて、機構見直しの構想と決意について伺う。

答　**町長**

人的な体制を整えてから、これからの矢祭の課題を解決するという思いで、私も動きたいと思っている。

質問　中央公民館整備計画とその他公共施設整備計画の関連について

問　この検討委員会というのは何に主眼をおいて、どのような答申がなされたのか伺う。

答　**教育課長**

公民館の機能・場所について協議し、候補地についても複数個所現場調査等している。

最終的に、図書館や駅など、相互利用、利便性がよい場所ということで、建設検討委員会の中では、東館地区のより図書館に近い場所への建設が望ましいとされた。今後実施計画を作成し進めていくが、答申の内容についてはホームページ等で公表を考えている。

問　あと何が決まったのか具体的に伺う。

答　**教育課長**

公民館だけではなく、子供の遊び場、世代間で交流ができる施設といったものを併せ持つ総合的な施設という話があった。公民館単独ではなく、複合施設ならば補助の対象にもなるので、それを基本に進めていきたい。

問　役場庁舎ができるまでの間、教育委員会の部局については、公民館を事務所としたいと記憶をしている。これは非常に経費の無駄遣いではないか。この真意について、教育長に伺う。

答　**教育長**

園、小中学校の入学時には全保護者向けの説明会も実施しており、非常に多くの方が参加している。そこでＳＮＳや性に関することについても話をしている。

先ほど申し上げた相談会というのは、就学時健康診断のときに一緒に個別にやっており、両方合わせて全体にも説明する機会を設けている。

問　最近、小中学生で、ちょっとスポーツの疲労というのか、整骨院や病院に通っている方々を多く見る。自分の健康を考えながら、うまくスポーツができる状況を提供できるよう、健康に過ごすために、身体のメンテナンスもできる状況をつくってほしいなと思うが、いかがか。

答　**教育長**

部活動とか学校体育とか、様々な部分でウォーミングアップ、それからダウンの大切さというところは、学習指導要領にもあるところであり、もう一度学校で再確認するように指導を進めてまいりたい。

答　**教育長**

部局を町役場に移すかどうかについての検討は、今後、必要になってくると思うが、現在の役場に、教育部局が入るスペースはないということで、当面の間は公民館に設置せざるを得ないかと考えている。なお、役場建設が進み、教育委員会部局を役場内に移行すると決定する可能性もあるため、事務室は様々な用途で多目的に使用できるレイアウトを検討してまいりたいと考えている。

問　まちなか公共施設機能調査では、候補地しか出ていないが、各種公共施設の建設場所というものはっきりと決定し、町民の利便性と将来的な維持管理の効率化というのを念頭に置いて、計画的な整備を図るというふうにシフトしていただきたい。今後、必要とされる公共施設のグランドデザインというものを、町民に対して早急にお示しをいただいて、進めていくということが何よりも先決だと思うが、町長いかがか。

答　**町長**

場所の選定については、財政の平準化も図りながら、一つ一つ丁寧に考えていかないと、これはここだと、全て示してしまうと、これはまたいろんな課題、問題もある。今、道路網の整備も今後入ってくるので、そういったものも考えながら、将来性を思いながら考えていくことも大事だと思う。来年度から、次の総合計画の作成が入りますから、その中にそういう協議会を立ち上げながら、進めていくべきだと思う。

質問　防犯対策強化のための防犯カメラ設置助成について

問　集団による連続強盗事件が各地で発生している。安全・安心な町づくりのため、家庭用防犯カメラの設置に対して、町独自の助成を行ってはどうかと思うが、考えを伺う。

答　**町長**

住民の安全・安心、子どもたちの安全・安心、これが大事だと思っており、今後、防犯カメラ等の補助等はしっかり考えていきたい。

問　平成７年度の予算に計上するとか、町のほうで要項をつくり、実施に入るということになろうかと思うが、そのことについて伺う。

答　**町民福祉課長**

この助成について、町長のほうでもしっかり考えていくという答弁でしたので、検討をしてやるということであれば、財源の確保等検討させていただきたい。

環境・土木行政

鈴木敏男議員

質問　矢祭町猟友会、捕獲隊の今後について

問　少子高齢化に伴い、猟友会のほうもなかなか会員が増えない。今の状況に対して町ではどのように考えているのか伺う。

答　**事業課長**

猟友会矢祭方部に対し、人員の確保及び育成について要請をしているが、次年度において、町独自の免許取得に対する助成制度を検討していきたいと考えている。

問　捕獲隊や猟友会の状況について伺う。

答　**事業課長**

現在、捕獲隊の人員は14名だが、中には体調を憂慮し、やめるという意向を示されている方もいるように聞いている。今後、捕獲隊の体制を固めていくためには、やはり推薦母体である猟友会の人員も確保していかなければならない。町としてどのような支援ができるか、検討している。

問　やはり若い人を育てていかないと、なかなか難しい。この猟銃の取得に関して、広報あたりでいろいろと募集してはいかがか。

答　**事業課長**

猟銃を取得するための手続等について、周知するということは現段階でできることかと思う。そのうえで、取得に対する助成制度ができたら、改めてお知らせはしていきたい。

問　猟友会に入っていただけるように、町のほうでも積極的に推進していただきたい、町長いかがか。

答　**町長**

やはり狩猟ですから、銃を所持するには、かなり厳しい審査を受けなければならないという問題もある。猟銃を持てるような方の推薦や育成も考えていくべきだと思う。

問　イノシシも獲るのはいいが、処分に困っている。４町村でやっているわけなので、東白衛生組合で破砕機でも買っていただいて、細かくして焼却してくれれば、一番ありがたいとは思っているが、全然そういう話は出ていないのか伺う。

答　**町長**

町村会では話題にはなっていない。

問　見回りもなかなか容易でない、ぜひとも箱わなの準備をもう一度お願いしたいと思うが、いかがか。

答　**事業課長**

箱わな等の購入については、東白川郡内の広域協議会のほうで県の補助金を要望しているが、配分額が要望額に対して少ないところがあって、財源がないため、箱わなの購入に至っていない。引き続き交付金について要望していくとともに、財源の確保を検討していきたい。

問　町の補助で何とかならないのか。

答　**事業課長**
　一般財源で対応できるものか、財源等を含めて検討していきたいと思う。

質問　現在行なわれている三関地区の河川の土砂撤去、河川脇の道路の舗装工事について

問　三関地区の河川の土砂撤去、河川脇の道路の舗装工事について、内容を伺う。

答　**事業課長**
　三関地区の主に上関の河川内の土砂除去と河川脇の道路舗装については、福島県が発注した工事である。河川内に堆積した土砂を撤去することで、降雨出水時の増水を低下させ、周辺地域の浸水被害の軽減を図ることを目的とした工事であり、河川脇の道路については堤防の舗装という意味合いで、河川堤防の天端を舗装することで、降雨出水時でも堤防強化により、堤内地における安全度の向上を目的とした工事である。

問　反対側の河川の道路は今後どのようになっていくのか伺う。

答　**事業課長**
　河川の土砂状況等も含めて、町のほうで要望している中で、予算を確保していただいている。今後、引き続き河川内の土砂除去等を含めて、堤防天端の補強についても要望を続けていきたい。

問　つい最近、大垠道清等の河川も土砂撤去されたが、あれはどのような工事なのか伺う。

答　**事業課長**
　久慈川の合流部分から上流側大垠の千本平辺りまでが一級河川として県管理の河川、そこから先は普通河川小田川ということで町管理になっている。大垠道清地区において、河川内の土砂の堆積が確認できたため、今年度実施したものである。

一般・教育行政

鈴木正美議員

質問　消滅可能性自治体について

問　消滅可能性の自治体としてのカウントに当町も入っている。当町ばかりでなく日本全国津々浦々にその可能性を秘めた市町村が多いが、当町がこのままその消滅を待つようなことをしてはいけないし、あるべきではないというふうに考えているが、町のグラウンドデザインが町民の目線に全く見えていない。あえてその辺をどうお考えになるのか、町長の考えを伺う。

答　**町長**
　今、少子化の問題、婚姻の問題、産業の問題、今度は農業の後継者の問題。年々、事情が変わり、7年度は7年度の課題を提起していって、できる支援はしていく。その財源をどう確保して、どのように使っていくかということが、行政の一番大事なところでありますから、財源をしっかり確保しながら、町民の安心・安全というような形で持っていきたい。今後このような課題解決のためにしっかり向き合うことが大事なことだと思っている。

問　今回、ユーパル前で駅伝大会があった。ユーパルの中で休んでいたら、関係ないんだから出ていってくださいと言われて気分を壊して、風呂も入らないで帰ってきたという人もいる。改善して、元のように近づける努力をみんなで一丸となってやらないといけないのではないか。ユーパルとスインピアの担当部署に伺う。

答　**自立総務課長**
　お客様への対応、失礼があったということであれば、支配人等に確認をし、対応についてはしっかり行っていただくようにしてまいりたい。今後の施設の改修等も含め、どのようにしていけばいいのか、売上げを上げるために何が必要なのか、そういったところも検討してまいりたい。

答　**教育課長**
　スインピア矢祭につきましても、営業努力をしており、各種合宿等の誘致を行っている。合宿の需要が多い時期などが宿泊施設の繁忙期と重なってしまうため、新たな宿泊場所の確保、価格の設定についても検討している。職員の接客マナーについても、私のほうから指導している。

問　スインピア、ユーパル、もう少し町を挙げて表にセールス、推進をすることを考えていきませんか。元々プールというのは採算が取れる業態ではないということは分かっていて、この町は造った。これからの町の行き先を考えると、この投入している額を何とか減らしていかないと、予算がショートする、それを心配している。教育長、いかがか。

答　**教育長**
　全体的には、やはり収益の上がるような形で進めていくのが一番であり、議員ご指摘のとおりだと思う。

問　田んぼの草刈りの対処の方法を考えることはできないか。行政が草刈り機を買って、貸出したりはしているが、それでも全く間に合わない。畔さえ刈れたら、あとはトラクター、ドローン等を使って、田んぼは何とか維持できる。ただ、どうしても人の手でやらなくてはいけない草刈りだけはネックになってしまう。作業組合をつくるとか、新たな組織を立ち上げるとか、そのうちの一つの事業の部門として、ある程度の金額を取りつつもやるということができないか。

答　**事業課長**
　農業者で49歳以上の方や担い手の方が機械を購入する際の助成を行っている。ほかの町を見ると、自分の土地だけではなくて、ほかの田んぼの法面や、農道の法面の草刈りを助成の条件にしているところもある。建設業者では、道路の法面の草刈りをする際に、バックホーにつけるアタッチメントを持っている業者もある。工事等の閑散期のときに、そのような機械が余っているようなら、そういうものを使って、農道等の草刈りをやってもらうことも考えられる。

問　組織はどうか。

答　**事業課長**
　担い手の方、若手農業者の方がまとまって組織をつくるとなれば、町のほうとしても何らかの支援はできるのかと思う。

問　関岡小学校の一室をお借りして、自分の活動の拠点としたいという希望を持つ方がいるが、そういった方に農業振興策として、後継者対策としてお貸しいただくことはできないか伺う。

答　**町長**
　若い農業者の方が、6次化産業ということで、矢祭のブランドづくりということも考えている。今、そういう集まりもあり、矢祭の魅力発信の中の一つとしては、考えてもよろしいかとは思う。

質問　高校授業料の実質無償化について

問　どういうことがあっても、福祉と教育だけは地域格差があってはいけない。国内の教育を受ける高校生をお持ちの家庭にとって、ごく当たり前の平等が担保されるべきだろうと思いますが、これについて、教育長、町長のお考え、今後の対応を含めて伺う。

答　**教育長**
　保護者の負担軽減ということに関しては、非常に大事な点であると思っている。機会があるごとに県のほうに呼びかけていくことは可能だと思う。今後とも教育長会議などで話をしてまいりたい。また、高校生が遠いところに行くのに補助をしてほしいという要望があり、就学助成金を昨年度までは2万円だったものを、今年から6万円という3倍に増額し、高校生を持つ保護者からは喜ばれている。なお今年度から給食無償化も進めており、こども園から中学校まで15年間無償になりますと、ざっと計算して、26万から27万円の軽減がある。高校に行くことについても非常に行きやすくなったのではないかと考えている。

水道・農業行政

鈴木一議員

質問　災害拠点の水道耐震化について

問　矢祭町の水道管路も老朽化が進み、耐震性のある管への更新を迅速に進める時期に来ていると思う。重要な管路は老朽化の度合いにかかわらず、早めに耐震化することが大事だと言われており、更新には財源が必要である。そのような中で水道料金の改訂を考える必要があると考えるが、町の考えを伺う。

答　**町民福祉課長**
　一般的に水道施設の耐震化は、その効果が目に見えた形にならないため、水道利用者の理解が得にくく、また、収益性の増加につながらないため、耐震化を理由に料金改定を行うことは難しいと考える。しかし、将来、人口減少による料金収入減少の見込みであるため、水道管路等の耐震化、安定した水道供給及び持続可能な水道事業を運営するため、水道料金の改定について検討していく必要があると考えている。

問　今の配水管延長距離は、大体76キロで間違いないか。

答　**町民福祉課長**
　資料によると、令和5年度で74，453メートル、約74キロということになる。

問　1年間に2キロずつ更新したとして、38年かかると思う。できるだけ早く更新をなされたほうが、できるだけ早急に耐震化を進めていったほうがいいのではないかなと思うが、町長いかがか。

答　**町長**
　この耐震化については、本町の耐震化率が、まだ2・6％ということで、十分に進んでいない現状である。水道管の古さ、耐用年数もあり、その辺も鑑みながら今後の水道事業の確立も進めていきたいと思う。

問　能登のようなことが起きないよう、できるだけ避けていただきたいと思うが、町長いかがか。

答　**町長**
　水道事業は理解を得ながら進めていきたい。

質問　東舘圃場の農道整備（舗装）について

問　東舘地区50ヘクタールの農業基盤整備は、昭和50年に完了しており、48年が経過している。用水路も面倒を見ながら皆さんで利用している現状である。農道も完了当時のままの砂利道が、小田川地区、山野井地区、舘本地区にある。現在は大型機械による農作業が中心であり、精密機器を搭載している。凹凸があると故障のリスクが高くなる。

次の時代を担う若い人たちに農業に従事していただくためにも、農道の舗装が必要かと思うが、町の考えを伺う。

答 **事業課長**

農道の舗装については、各地域から要望があり、毎年度予算を確保し、農地利用の状況や路面の状態を確認しつつ、順次舗装化を進めている。高齢化が進む中、農作業の効率化や農業生産性の向上、農道を利用する地域住民の安全性や快適性の確保、農道の維持管理に係る負担軽減を図るためにも農道の舗装は必要と考えており、担当課としては予算の確保に努めていきたい。当該農道は、まちづくり懇談会においても要望があった箇所であり、先に述べた状況を踏まえながら検討をしていきたい。

問 柳町の農道は舗装してあったほうが景観的によろしいかなと思っている。できるだけ早急に舗装ができる体制を整えていただきたいと思うが、いかがか。

答 **事業課長**

いろいろ状況を検討しながら、毎年2、3路線の農道を舗装化しており、順次進めていきたい。

問 一遍にやらなくても柳町の別の農道の舗装も1期、2期でやっていただいておりますので、そんな形を取っていただければ、早くできるのではないかと思うが、いかがか。

答 **事業課長**

予算の状況によって、延長は決まってくる。今年度も5年度の残りをやっているところもあれば、6年度に発注した農道も全線終わらないところがあり、7年度に要求していきたいと考えている。予算を確保しながら計画をさせていただきたい。

議会状況の録画配信をご覧いただけます

12月定例会の議会の様子を町ホームページで録画配信していますのでご覧願います。

◎随時監査実施

◎定期監査実施

令和6年10月28日から31日までの4日間、藤田義広代表監査委員と本多勇也監査委員は、地方自治法第199条第4項の規定に基づき、財務に関する事務の執行や町の経営に係る事業の管理、工事内容と進捗状況、小・中学校及び町の出先機関の監査を実施しました。

◎監査内容

10月28日、29日

〈決算資料の検討〉

〈踏査箇所の選定〉

〈関係諸帳簿の監査〉

- 町の財産に関する事務の執行
- 町の経営に係る事業の管理

10月30日

〈工事現場進捗状況・踏査〉

- 令和5年度茗荷浄水場緩速ろ過池No.2電動テレスコープ設置工事（繰越）
- 令和6年度町道真木野・茗荷線舗装工事
- 令和6年度農道山下1号線舗装補修工事
- 令和6年度矢祭ニュータウン法面補修工事
- 令和6年度ユーパル矢祭温泉ポンプ故障交換工事
- 令和6年度ユーパル矢祭客室エレベーター緊急修繕工事
- 令和6年度ユーパル矢祭非常放送設備更新工事
- 令和6年度スインピア矢祭スクリーン取替工事
- 令和6年度林道大坱線舗装補修工事
- 令和6年度林道大坱線側溝土砂撤去工事
- 防火水槽水利状況確認（3個所 小田川字弥三郎内地内 外）
- 他　机上確認2か所

10月31日

〈学校及び出先機関〉

- 矢祭小学校、矢祭中学校、やまつりこども園、学校給食センター、中央公民館（もったいない図書館）

関係諸帳簿の監査

工事現場の踏査

防火水槽の確認

出先機関の監査

監査・議会の動き

★11月

2日　第40回青少年の主張矢祭町大会（ユーパル矢祭）

3日　第42回芸能発表会（ユーパル矢祭）
やまつり元気祭2024（ユーパル矢祭駐車場）

11日　第8回臨時議会（議場）
産業務常任委員会（議員控室）

13日　第36回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会矢祭チーム壮行会（山村開発センター）
総務常任委員会（議員控室）

14日　第68回町村議会議長会全国大会（東京都）
ユーアイホーム創立30周年記念式典（ユーパル矢祭）

15日　東白衛生組合定期監査（塙町）
矢祭町PTA連絡協議会表彰式・祝賀会（ユーパル矢祭）

16日　川口東ライオンズクラブ田舎暮らし体験ツアー（佐野屋）

17日　第36回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会矢祭チーム報告会（ユーパル矢祭）

18日　第58回全国過疎地域連盟定期総会（東京都）

19日　産業常任委員会（議員控室）
中央公民館建設検討委員会（中央公民館）

20日　例月出納検査（議員控室）

24日　白河地方広域市町村圏整備組合議会第4回定例会（白河市）

26日　地方自治研究交流セミナー（棚倉町）

★12月

1日　第29回矢祭ふれあい駅伝競走大会（スインピア矢祭）

3日　議会運営委員会（議員控室）

7日　令和6年度生活発表会（矢祭こども園遊戯室）

9日～13日　第9回定例会（議場）

9日　産業常任委員会（議員控室）

11日　総務常任委員会（議員控室）

14日　やまつりえほんフェスタ（ユーパル矢祭）

20日　例月出納検査（議員控室）

18日　生涯学習合同閉級式（山村開発センター）

20日　例月出納検査（議員控室）

22日　令和7年矢祭町商工会新年会（ユーパル矢祭）

30日　東白川地方町村議会議長会第4回定例会（棚倉町）

★1月

4日　矢祭町消防団出初め式（矢祭中学校）

9日　第1回臨時議会（議場）

12日　令和6年二十歳の成人式（ユーパル矢祭）

次の定例議会は3月です

請願・陳情について

請願、陳情はその取扱いを議会運営委員会で協議します。3月定例会に請願、陳情をされる方は令和7年2月22日までに提出願います。

案内

自動車の移転・抹消の手続きはお済みですか？

自動車税種別割は、毎年４月１日（午前０時）現在で車検証に記載されている「所有者」又は「使用者」に課税されます。

例年、「所有していない自動車の納税通知書が届いた」、「納税通知書が届かない」などの問い合わせが多く寄せられています。

自動車の登録内容に異動（移転・変更・抹消）がある場合は、３月末までに福島運輸支局等で手続きを済ませましょう。

問い合わせ　登録手続きに関すること▼東北運輸局福島運輸支局いわき自動車検査登録事務所（いわき市内郷綴町舟場１-１３５）☎０５０-５５４０-２０１６／自動車税種別割納税通知書の送付先変更などに関すること▼福島県県南地方振興局県税部課税課（白河市昭和町２６９）☎０２４８-２３-１５１９

申告書作成会場を開設します

申告書作成会場では、ご自身のスマホにより、ご自分で申告書等を作成・送信していただきます。

スマホ及びマイナンバーカード（暗証番号：数字４桁、英数字６～16文字）を忘れずにお持ちください。

なお、申告書作成会場への入場には「入場整理券」が必要です。「入場整理券」は、ＬＩＮＥ（国税庁を友達登録）による事前発行と会場での当日配布があります。

申告書作成会場では、申告書の提出は受け付けておりませんので、提出のみの方は税務署に郵送してください。

また、スマホとマイナンバーカードをお持ちの方は、国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」から24時間いつでも申告書を作成し、送信することができます。ぜひ、ご利用ください。

詳しくは、国税庁ホームページをご確認ください。

▶国税庁公式 HP　▶国税庁公式 LINE

会場　人材育成センター２階講堂（白河市中田１４０）

期間　２月17日（月）～３月17日（月）

※土曜・日曜・祝日を除きます。

時間　午前９時～午後４時

問い合わせ　白河税務署☎０２４８-２２-７１１１（代表）（音声案内で「２」番を選択してください。）

福島県の最低賃金が変わりました

福島県の最低賃金が９５５円に変わりました。

福島県最低賃金は、常用、臨時、パートタイマー、アルバイト等の名称にかかわらず福島県内の全ての労働者に適用され、使用者は、その金額以上を支払わなければなりません。最低賃金には、次の賃金は算入されません。

●精皆勤、通勤、家族手当

●時間外、休日の割増賃金及び深夜手当

●臨時に支払われる賃金、１か月を超える期間ごとに支払われる賃金

※詳しくは、福島労働局労働基準部賃金室又は各労働基準監督署へお問い合わせください。

問い合わせ　福島労働局労働基準部賃金室☎０２４-５３６-４６０４／白河労働基準監督署☎０２４８-２４-１３９１

今年は５年に１度の国勢調査が行われます

我が国の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として、９月下旬に調査票を配付し、10月１日現在日本国内に住んでいるすべての人と世帯を対象に調査します。

調査結果は、様々な行政施策の基礎データや研究・教育活動など皆さんの生活の幅広い分野で利用されます。

回答方法は、インターネット回答と郵送回答があり、スマホやパソコンから24時間いつでも回答ができるインターネット回答が簡単で便利ですので、ぜひご利用ください。

相談

税の無料相談会開催のお知らせ

東北税理士会白河支部では、税理士記念日に税の無料相談会を開催します。

無料相談会への参加には、事前予約の必要はありません。

また、無料相談会にお越しの際には、申告書等に関する関係書類をご持参いただきますようお願いします。

日時　２月23日（日）10時～16時

会場　白河市産業プラザ・人材育成センター２階会議室（白河市中田１４０）

問い合わせ　鈴木隆司税理士事務所☎０２４８-２７-０３１６

募集

国家公務員採用試験のお知らせ

人事院では次のとおり国家公務員採用試験を実施します。

試験名　総合職（院卒者・大卒程度）、一般職（大卒程度）、一般職（高卒者）

申込受付期間　総合職（院卒者・大卒程度）▼２月３日（月）～２月25日（火）／一般職（大卒程度）▼２月20日（木）～３月24日（月）／一般職（高卒者）▼６月13日（金）～６月25日（水）

※申込はインターネットにより行ってください。

第１次試験日　総合職（院卒者・大卒程度）▼３月16日（日）／一般職（大卒程度）▼６月１日（日）／一般職（高卒者）▼９月７日（日）

※申込方法や受験資格等の詳しい内容については人事院ホームページの「国家公務員試験採用情報ＮＡＶＩ」又は人事院東北事務局第二課試験係までお問い合わせください。

問い合わせ　人事院東北事務局第二課試験係☎０２２-２２１-２０２２

消防分署からのお願い

「春季全国火災予防運動」

３月１日から３月７日まで、春季全国火災予防運動が実施されます。令和６年の矢祭管内火災件数は４件でした。令和７年は火災件数０件を目指し、矢祭町全体で火災予防運動に務めましょう。

また、これからの時季は風が強くなり、空気が乾燥し火災が多発する季節です。家庭ごみの焼却行為に関しては、法律で空地や田畑で焼却する行為などは原則禁止されています。ただし、農業を営むためにやむを得ないものとして行われる焼却（稲わら、枝等）や風俗慣習上または宗教上の行事を行うための焼却（門松、とり小屋等）は焼却禁止の例外となっています。

焼却を実施する前に迷ったら最寄りの関係機関に問い合わせをお願いします。

●町内火災・救急件数
（令和7年1月1日～1月15日）

火災件数	０件
救急出動	14件

「火事・救急・救助は 119 番」

問　棚倉消防署矢祭分署
☎ 46-2119

人の動き

１月１日現在の住民基本台帳より
（　）内は前月比

人　口	5,145人（－ 19）
男	2,532人（－ 19）
女	2,613人（± 0）
世　帯	2,089世帯（－ 16）

●赤ちゃん誕生おめでとう（敬称略）

赤ちゃんの名前	誕生日	保護者	地　区
SALMERON REINA	１／15	GOCOTANO・SALMERON JULIUS・ALDAPHNY	下関河内

●お悔み申し上げます（敬称略）

亡くなられた方	年齢	届出者	没月日	地　区
金澤　タカ	94	由明	12／23	戸　塚
金子　博子	89	景二	12／23	東　舘
塙　　平	93	繁子	12／29	下関河内
今井ミツエ	81	祐亘	１／６	東　舘
近藤　榮子	83	貢	１／６	上関河内
藤田しげ子	89	吉田和子	１／11	上関河内
小林　絹子	93	健	１／12	中石井
石井　仁一	94	清吾	１／14	内　川
本田イツ子	70	明	１／16	下関河内
金澤　豊子	88	正博	１／20	中石井
寺島　キン	96	宏治	１／25	大　坪
白坂　ハツ	92	和正	１／27	下石井

●今月の納税
後期高齢者医療保険料▶７期
納期限（口座振替日）▶２月２８日（金）

●あとがき

今月は成人式特集を掲載させていただきました。式当日は、新成人が晴れ着に身を包み、大人への門出を家族や友人と喜び合っている姿を見て、もう何年も前のことではありますが、懐かしい思い出が蘇りました。

成人を迎えられた４７人のみなさん、改めてご成人おめでとうございます。（悠）

2
February
2025
広報やまつり
Public Relations Yamatsuri
令和7年2月7日発行
（毎月第1金曜日発行）
No.767

■今月の一冊　～わたしのすきな絵本～

『おかあさんだいすきだよ』

作・絵▶みやにしたつや　　出版社▶金の星社　　対象年齢▶幼児～

おかあさんね あなたが ずっと ずっと ずーっと だいすきだよ。

ぼくはお母さんが大好きだけど、お母さんは「早くしなさい」「ぐずぐずしないで」「何回言えばわかるの」って、ぼくをしかってばかり。優しくしてくれたら、もっと好きなのに。子どもの気持ちに寄り添った子育て応援絵本。

（紹介文：金の星社／矢祭もったいない図書館）

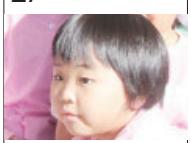
矢祭町長　佐川 正一郎

▶一年で一番寒い季節になりました。体を大切にしてください。２月にご紹介する絵本は、“おかあさんだいすきだよ”です。子育てする中で、親として誰もが経験するストーリーが描かれています。親の期待や心配の表れが子どもたちに伝わらないことが沢山あります。子どもたちの行動を理解し認めることや、大事なところで褒めることも大切です。正月に豊田佐吉伝の“やらまいか”を読みました。“やってやろう”という意味です。トヨタグループの創始者で、蒸気で動く織機を日本で始めて発明した人です。周囲から変人扱いされ、理解されない中、佐吉を励まし続けた母の姿が愛しいです。「佐吉よ、直してくれて、ありがとう。」偉人に母あり。

2月 情報カレンダー

＊新型コロナウイルス感染症の影響により、変更となる可能性があります。

［省略］
○…当番医　山開…山村開発センター　舘山…舘山荘
塙…塙厚生病院　ユ…ユーパル矢祭　保セ…保健福祉センター

日	月	火	水	木	金	土
9 ○おおひら整形外科クリニック☎33-9468	10 ● 3か月児健康診査 塙（13：00～13：15） ●カンガルーくらぶ	11 ○塙厚生病院☎43-1145	12 ● 6か月児・10か月児健康相談 保セ（9：30～9：45） ●マミーサロン 保セ（10：30～15：00） ●カンガルーくらぶ	13 	14 ●カンガルーくらぶ	15 ●カンガルーくらぶ
16 ○木村医院☎46-3528	17 ●家族の相談会 保セ（13：00～16：00）	18 ●カンガルーくらぶ	19 ●カンガルーくらぶ	20 ● 2歳児歯科健診 保セ（13：00～13：10） ● 歯科クリニック 保セ（13：10～13：20）	21 ●カンガルーくらぶ	22
23 ○あらまちクリニック☎33-8018	24 ○つちやクリニック☎43-2250	25 ●カンガルーくらぶ	26 ●マミーサロン 保セ（10：00～15：00） ●カンガルーくらぶ	27 	28 ●カンガルーくらぶ	3/1
2 ○東舘診療所☎46-2312	3 ●心の相談会 保セ（13：00～16：00） ●カンガルーくらぶ	4 ●カンガルーくらぶ	5 ●カンガルーくらぶ	6 ● 3歳児健康診査 保セ（12：45～13：00） ● 1歳6か月児健康診査 保セ（13：00～13：10）	7 ●カンガルーくらぶ	8
9 ○和田医院☎33-2012	10 ● 3か月児健康診査 塙（13：00～13：15） ●カンガルーくらぶ	11 ●カンガルーくらぶ	12 ● 6か月児・10か月児健康相談 保セ（9：30～9：45） ●マミーサロン 保セ（10：30～15：00） ●カンガルーくらぶ	13	14 ●カンガルーくらぶ	15

発行／矢祭町役場自立総務課
TEL0247－46－3131FAX0247－46－3155
H.P.Add http://www.town.yamatsuri.fukushima.jp/
住所／〒963-5192 福島県東白川郡矢祭町大字東舘字舘本66番地
E-mail soumu-g@town.yamatsuri.fukushima.jp
印刷／塙町本町 佐藤印刷所